

ぷち☆ドライブ♡お隣さん!!



富山県・氷見市



今回は氷見漁港場外市場・ひみ番屋街にあるセルフ食堂『番屋亭』を御紹介致します。

番屋亭は2012年10月に"ひみ番屋街"が開業してからの同時オープンとなっており、道の駅『氷見』に隣接されていますので、駐車スペースは普通車で約220台は可能であります。

ちなみに、無料の「小屋型の足湯」が朝8時半から利用でき、お隣には氷見温泉郷(天然温泉)の「総湯」があり、道を挟んで向い側には大きな芝生広場が広がる「比美乃江公園」にある展望台から絶景を楽しむことができます(天気☀はとても重要です)。



ひみ番屋街には「北の番屋」「東の番屋」「西の番屋」「南の番屋」「みのりの番屋」の5つのエリア(約30店舗以上)が分かれて営業しており、氷見漁港直送の魚介類・氷見牛・氷見カレー・氷見うどん・氷見地場野菜(直売所)およびお土産品等が豊富な品揃えて販売されています。なかでも、氷見ブリ・ほたるいか・白エビ等の加工品は特にオススメとなっております。

『氷見』と言えば"寒ブリ"が知られる海辺の街、富山湾越しにそびえる立山連峰・北アルプスの山並み、白山の山並み、唐島(からしま)が一望できる爽快な風景が眺める『絶景スポット』が広がり、このコロナ禍で巣ごもり生活が続く窮屈な日常を一新し

てくれて、尚且つ「美味しい魚料理」が気持ちも心もリフレッシュさせ、満腹感と共に充実感満載な1日をプレゼントしてくれますよ!!

「ひみ番屋街・番屋亭」では、ポッキリ1000円の朝食が振る舞われ、前払いで支払うシステムにより「ワタリガニの味噌汁」とミニ刺身(ブリ刺身)&一品(たこワサ)は最高!!であり、釜で炊いた氷見(はさ掛け)米も堪能する価値◎アリでした。

また次回立ち寄る際には、氷見漁港・2階にある『魚市場食堂』で土鍋に入った"漁師汁"を味わうために「氷見」へ行きます☺️ 今回も大満足!!

産地直産<魚のレストラン> 番屋亭

- 住 所: 富山県氷見市北大町25-5
- 電 話: 0766-72-3400
- 営業時間: 【朝の部】8時~9時半迄: お任せ朝食
[ミニ刺身・焼物・煮物・漬物・御飯・汁など]
- 1,000円(税込)ポッキリ【ラストオーダー: 9時迄】
- 午前11時から一般メニュー(各種定食類)開始
但し、「本日の井ぶり」は早い者勝ち!!
- 定 休 日: 無休(不定休*)
- ※ コロナ感染拡大で変更あり、要確認。



田中正志さんから閉出花贈呈!!

中尾 豪さんと最後の記念撮影!!

3月8日(月曜)を持ちまして、2020年度早期退職(再任用)を希望した 運転技士の小川辰典さんが収集最後の日を終わりました。これまで、長きにわたり技術・知識・経験等を後輩職員へ数多く伝え、時にクドい位の"熱弁"が永遠に続く状態もありましたが、それが『小川節』でもあり名物でした。

現在の再任用制度は、希望者に対し「フルタイムを基本」とした雇用が求められており、年齢と経験を重ねた職員には日常業務の負担量や良好な人間関係構築等にも、少なからず現役には感じなかった精神的・肉体的影響が目に見えない形(表面には出ない形)で本人を蝕んでいくのかも知れません(あくまでも推測)。人それぞれ様々な性格・考え方・特徴等があり、それを上手く最大限の能力まで引き出すことが出来れば『完全無欠』な人となりますが、この世の中にそんな人は存在しません。人は「悪い面(欠点)」ばかりに目が行くのが当たり前で、外敵から身を守る"人間の先天的に持ち合わせた本能"であります。

つまり、人の良い部分を見つける"目"を養わなければ『良好な人間関係』も『働きやすい職場環境』に関しても、実現は程遠いものであるような感じがします(個人的見解)。

静かな時間の流れの中に、ふと浮かんでくる光景(机トントン♪) 辰ちゃんロス が大きいかも……です☺️
長い間、お疲れ様でした!! そして、有り難う御座いました。

Point

「ぷち☆ドラ♡お隣さん~富山・氷見編~」&眠くならない講師の技を体験!!

毎年900人を超える尊い命が失われています

安全管理者 選任時研修



N市従労 NEWS

第161号
発行2021年3月22日
金沢市従労組 情報宣伝部

3月5日(金曜)に地場産業振興センター・本館3階<第4研修室>において『安全管理者-選任時研修-』が、午前9時20分から午後19時30分までの講習時間(全9時間)で行われました。

コロナ禍の影響もあり、館内および各部屋における飲食等は全面禁止により、募集定員数を減らし全34名の参加者で完全マスク(不織布製使用)着用により、研修は換気も含めた少し寒さを感じる室内で長時間にわたり、最低限の休憩時間(3時間毎および90分毎に→約10分休憩、昼食時→約40分休憩)のみで、淡々と進行されました[法定講習(研修)のため時間厳守]。

研修内容は、午前中に「安全管理」=3時間、午後から「安全衛生」=3時間、「安全教育」=90分、「関係法令」=90分を1人の講師がプロジェクターを使い実体験(要点をまとめた内容等)を交えた受講内容なので、非常に分かりやすくなっていて、受講中も気を抜かせないように『受講者番号』を呼ばれ、突然に質問(複数回)等を投げかけられ、内容も実際の管理職向けの具体的な部分等にも及ぶ事もあり、眠気も油断も全く無く「緊張感」が漂う中での研修は、精神的には正直"ツライ"ものがありました(☹️感想)。

【主な研修内容のポイントとして: ①労働災害の届出判断②労働災害発生時の行動③労働安全衛生法の内容(基礎知識)④職場内での現状問題点を洗い出す⑤安全教育における講師の重要性⑥安全委員会・安全衛生委員会等の活性化⑦リスクアセスメント(重大事故の未然防止)等]

全国における労働災害は、毎年900人を超える労働者の尊い「命」が失われている。コロナ禍における働き方(テレワーク)等の変化で、被災者数は減少するかとわれがちですが、ほぼ横バイなのが現状であり、基準となる「休業4日以上」になるケースが約13万人に迫る勢いで増え続けているのです。



その中で、安全管理者に求められる「労働災害の防止」に必要な知識・経験・安全技術力等の向上(改善)を目的として、人の生命を守るための『安全』を意識した職場環境を整備するため、職場の巡視をはじめとした危険予知活動、リスクアセスメント等の具体的な対策の実施を組織的に取り組むことが重要であります。

安全配慮義務を果たすためには「法定基準を守る」だけでは災害は無くないため、回避する「災害防止措置等」を講じなければなりません。最近では事故・ケガだけに留まらず『過労自殺』『健康被害』『セクシャルハラスメント』『パワーハラスメント』『モラルハラスメント』……への対応にも目を向けながら早期発見・早期対策ができる環境づくりが早急に求められています。

昨今の技術開発の進歩に応じた「災害防止対策」を確立するため、厚生労働省ホームページ等から安全関係資料・情報を広く収集しながら、働く仲間達に正確な最新情報を伝える方法にも創意工夫を凝らし、重要事項等(安全方針・安全目標・安全計画・職場評価表・職場改善法・災害調査結果等)を正しく記録・保存(保管)することも非常に重要であり、まずは自分達が働いている職場全体を把握することから始めることが肝心なのだと思います。

今回の研修会講師:小林隆夫氏は、全国(沖縄~北海道)へ出張で『安全衛生教育』を実施している"眠くならない講習(研修)会"をするスペシャリスト(先生)でもあります。
コロナ禍前までは、年間150日以上もの講習会講師を務めあげ、様々な業種内容にも対応した説明は効率よく、手軽に確実に労働安全教育(管理体制の確立)をしたいと、強く願う人達のサポート役として、大きな存在感(風格)を放っています。「各種教育」の適切な実施には『講師』の選定は、特に重要なポイントとなります。

[小林労働安全コンサルタント事務所 所長 小林 隆夫]